

2025年度 事業報告書

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

2026年5月

— 目次 —

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
------------------------------	---

<第一部> 事業の概要

1. 2025年度 公益目的事業の概観・・・・・・・・	2
-----------------------------	---

- ◆ 首席指揮者カーチュン・ウォンの洗練された芸術性の高まり
- ◆ プレ70周年に相応しい日本フィルならではの音楽を届けることができた
- ◆ 社会性活動は着実な深化を示した
- ◆ シーズンスタート時期の変更と横浜定期演奏会の開演時間の変更

2. 2025年度 財務の実績・・・・・・・・	3
-------------------------	---

3. 2025年度 経営ガバナンス等の状況・・・・・・・・	3
-------------------------------	---

<第二部> 2025年度 事業報告

1. オーケストラ・コンサート・・・・・・・・	4
-------------------------	---

2. エデュケーション・プログラム・・・・・・・・	5
---------------------------	---

3. リージョナル・アクティビティ・・・・・・・・	6
---------------------------	---

4. 「被災地に音楽を」「東北の夢プロジェクト」	7
--------------------------	---

5. コンテンツ・音源事業（公益事業）並びに物品販売（収益事業）	8
----------------------------------	---

6. 演奏に必要な調査・研究・・・・・・・・	8
------------------------	---

7. 情報発信・・・・・・・・	9
-----------------	---

8. 楽団へのサポートシステム・・・・・・・・	9
-------------------------	---

<第三部> 資料編

資料1 オーケストラ・コンサート 主催事業各事業の総括	11
-----------------------------	----

資料2 2025年度公演事業一覧	16
------------------	----

2025年度 事業報告書

はじめに

故・渡邊暁雄が創設者となって設立された日本フィルハーモニー交響楽団（以下、日本フィル）は、2026年6月に創立70周年を迎えます。

これに先立って2025年度は、70周年記念に繋げるための多彩なプレ周年事業を行いました。「あくなき芸術性の追求」では、卓越した演奏力を発揮して魅力あふれる演奏会を数多く提供し、また「社会性活動のさらなる深化」では、東北における新しい支援活動等の展開で地元の皆様に評価され、それぞれプレ・イヤーに相応しい成果をあげることができました。

就任3年目を迎えた首席指揮者カーチュン・ウォンと楽団との深い絆で結ばれた協働が生み出すウォンが得意とするマーラー作品や、自身のライフワークでもある日本人作曲家等の曲なども積極的に取り上げ、ともに作り上げた奥深い作品を通じて、文化的多様性と日本フィルらしい音楽の追求に大きな成果をもたらすことができました。

「被災地に音楽を」を始めとする社会性活動は、例えば、福島避難指示解除地域の復興支援活動などで、音楽を通じた新たな支援を展開することができました。

こうした支援を通じて、日本フィルは音楽を軸に社会に貢献するという独自のオーケストラ像を具現化し、新しい次元に一步踏み込めた意義ある一年になりました。

2025年度の楽団の財政実績ですが、収入は入場率の改善もあり、受託を含めた演奏・入場料売上が大幅に増加しました。さらに民間助成金や個人寄付金等の増加も寄与して、最終的に安定した業績をあげることができました。翌年度に創立70周年記念事業等を控えて、財政基盤の安定化は、財務改善の面では心強い材料になりました。

<第一部> 事業の概要

1. 2025年度 公益目的事業の概観

◆ 首席指揮者カーチュン・ウォンの洗練された芸術性の高まり

首席指揮者就任3年目を迎えたカーチュン・ウォンとの歩みは着実に深化を見せ、オーケストラとの一層の相互信頼を背景に、極めて質の高い名演奏を継続的に提供することができました。

年度直前の3月に開催された東京定期演奏会では、マーラーの近代演奏史に刻まれる交響曲第2番《復活》で壮絶な名演奏を披露し、その模様は2025年4月のNHK「クラシック音楽館」で放映され、大きな話題を呼びました。

2025年度に入って9月の東京定期演奏会では、マーラーの謎多き傑作、交響曲第6番《悲劇的》を演奏し、ハンマーの回数や立ち居振る舞いにも驚きが満ち、その質感豊かな演奏で観客を大いに魅了しました。

10月の東京定期演奏会では、ショスタコーヴィチの交響曲第11番《1905年》を取り上げました。この《1905年》は帝政ロシアの圧政のなかで民衆が抱く恐怖心を見事に描いた作品ですが、ウォンはショスタコーヴィチの優れたオーケストレーションが可能にしたリアリティーと生々しさを見事に描ききりました。

このように「プレ70周年シーズン」の演奏会において、カーチュン・ウォンはより洗練された芸術性の圧倒的な高まりを見せて、多くのファンの期待に応えました。

◆ プレ70周年に相応しい日本フィルならではの音楽を届けることができた

小林研一郎をはじめとする多彩な指揮者陣が、芸術性と話題性を兼ね備えた中味の濃い公演を数多く実施しました。

期初スタートの4月の公演では、広上淳一指揮、高島勲演出により、オペラ《仮面舞踏会》をセミ・ステージ形式で上演し、日本フィルの歴史に新たな1ページを刻みました。

また、ハンガリーの指揮者、名匠ガボール・タカーチ＝ナジが日本フィルと初共演するなど、斬新かつ王道のプログラムを展開し、聴衆から高い評価を得ました。

さらに落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクトの2025国際博覧会（関西・大阪万博）のシグニチャーイベントとしての出演も話題となりました。

◆ 社会性活動は着実な深化を示した

51年目を迎えたファミリー子供向け「夏休みコンサート」の17公演、同じく九州各地域の実行委員と共に作る「九州公演」も半世紀を超え、2025年度は藤岡幸夫を指揮者に迎

えて、2週間に亘る長丁場の9公演は、すべて好評を博して幕を閉じました。

東北の支援活動を軸にした社会性活動、15年目を迎えた「被災地に音楽を」と7年目を迎えた「東北の夢プロジェクト」を継続して実施するとともに、助成金を活用した「東北の夢プロジェクト in 東京」を東京芸術劇場で初めて開催し、被災地の皆様も一堂に会し、一般の市民も集う文化交流の新たなモデルを示すことができました。

福島県の避難解除地域の地域復興活動でも、新たな支援を展開し、音楽を軸に社会に貢献するという日本フィル独自のオーケストラ像を具現化することができました。

◆ シーズンスタート時期の変更と横浜定期演奏会の開演時間の変更

70周年を期に、東京・横浜定期演奏会のシーズン時期を、従来のヨーロッパスタイル（9月～翌年8月）から、事業年度に合わせて4月からスタートする変更を行い、2025年度はその移行期間としました。

また 2025年9月からの横浜定期演奏会は、高齢者が来場しやすい時間帯やコロナ後の生活スタイルの変化にも配慮しながら、開演時間を従来の17時から15時に2時間繰り上げることにしました。

2. 2025年度 財務の実績

2025年度の財務実績は、70周年プレシーズン演奏会の入場率の上昇や定期会員数の回復もあって、受託収入も含めると演奏・入場料が大きく増加しました。また、民間助成金や個人寄付金等の寄与も大きく、経常収益は前年度比大幅に増えました。

一方、2025年度は経費の掛かるオペラ公演の実施等もあり公演事業費は大幅に増えました。人件費の増加やや物価高騰等の外部要因も加わって経費はかなり増えましたが、上記収入の増加が寄与し、2021年度以来4期ぶりに当期最終収益を確保することができました。

中長期的な経営安定化に向けた財政基盤の整備は一步が進むことができました。

3. 2025年度 経営ガバナンス等の状況

新たに就任した理事長のもと、現在、公益財団法人に強く求められるガバナンスを改めて見直しを進めております。

現在、公益財団法人に求められるガバナンス強化の視点から、まずは専務理事以下の役員がその機能を発揮できるための環境整備に着手しました。

理事、評議員等人事を通じた新たな監視機能の強化、内部統制の構築、各種ハラスメントの禁止など、改めて社内ルールを見直し、情報開示の徹底や公益目的事業の更なる活性化のための財務規律の明確化など、自律的なガバナンスの充実を目指して改革に乗り出しました。

<第二部> 2025 年度 事業報告

1. オーケストラ・コンサート

2025 年度のオーケストラ・コンサートは、翌年度の創立70周年を見据えつつ、東京・横浜の定期演奏会を中心に、組織としての方向性を明確に示す一年となりました。

シーズン全体を通じて、首席指揮者カーチュン・ウォンが要となり、若い感性と構築力を備えた音楽づくりで楽団の新しい時代を印象づけました。

一方で、桂冠名誉指揮者小林研一郎が「コバケン・ワールド」「第九特別演奏会」等、複数公演に登場して圧倒的な集客を維持、長年にわたり築いてきた信頼関係に基づく熱い音楽が楽団の伝統を支えてくれました。

また、フレンド・オブ・JPO 広上淳一や山田和樹といった日本を代表する指揮者も次々に登場し、それぞれの個性が異なる音楽的景色をもたらし、レパートリーの幅と表現の多様性を強化できました。特に広上マエストロとのオペラ《仮面舞踏会》は 2025 年度のハイライトの一つになり、日本フィルの歴史に新たな 1 ページを付け加えることになりました。

主催公演では、楽団員ソリストの積極的な起用も進み、組織内の人材育成と発信力向上に寄与することになりました。また楽員の演奏自発性育成を目指し、新たな「東京室内楽定期」もプレ70年事業の一環として 2026 年3月からスタートすることになりました。

音楽事業を通しての社会性活動も、引き続き、重視しました。

リージョナル・アクティビティやエデュケーション・プログラムを通じて、楽団の社会的存在感を改めて示すことができました。さらに、宇部市での UBE クラシックコンサートをはじめとする地域連携公演や教育プログラムも継続実施し、文化振興と社会貢献の両面で活動の裾野を広げてきました。

全体として 2025 年度は、カーチュン・ウォン体制の深化とベテラン名指揮者陣の支えがマッチし、音楽的な成果と組織的な成長が両立した年となりました。

創立70周年に向けて、楽団の方向性を確かなものとする基盤を着実に整えることので

きた一年だったと言えます。

【2025年度の実施事業：＜第三部：資料編＞に掲載】

2. エデュケーション・プログラム

音楽を通して感性や創造性を育み、次世代をはじめ多くの世代の心の豊かさの育成に寄与することを目的に、2025年度も多彩なエデュケーション・プログラムを積極的に推進しました。

【2025 年度の主な実施事業】

① オーケストラによるエデュケーション・プログラム

- ・「夏休みコンサート」
- ・杉並公会堂「春休みオーケストラ探検」 ※関連イベントの復活
- ・「小学生からのクラシック・コンサート」(京都市内)
- ・「文化庁巡回公演」
- ・「杉並区小中学校音楽鑑賞会」

② 室内楽、その他によるエデュケーション・プログラム

- ・オーケストラ・メンバーによるワークショップ「日本フィル・ミュージック・ラボ」
- ・自治体との連携：杉並区小中学校出張コンサート、
さいたまプライマリーコンサート、等
- ・60 歳からの楽器教室(会場：セシオン杉並、西荻地域区民センター)

エデュケーション・プログラムの中核をなす夏休みコンサートは51年目を迎え、一都三県で16回、京都で1回、計17回の公演を実施しました。

第1部はオーケストラを聴き、第2部「バレエ《白鳥の湖》、ピアノ(金子三勇士)を選べるプログラム、第3部は「みんなで歌おう」という充実した内容で、多くの子供とご家族の皆様感動を届けることができました。

音楽を通じて心を育む地域貢献活動としては、杉並区での「60 歳からの楽器教室」や文化庁「学校巡回公演」等を通じて、生涯学習や音楽教育の場を提供してまいりました。

ワークショップ活動では、楽員の自発的な発想に基づくプログラム開発に取り組み始めました。

3. リージョナル・アクティビティ

全国各地の自治体や協力団体との連携等により、地域文化の振興に寄与する活動を展開しました。

地域を音楽で豊かに活気あるものにして、その地域の課題解決に寄与する活動は、ますますその需要が高まっており、例えば愛媛県の坊ちゃん劇場でのクリニックの実施等、地域との連携は確実に多様化してきました。

楽団の拠点である杉並区とは、2024年度に友好提携の覚書締結から30年目を迎え、行政、区民との連携活動は一層充実してきました。

【2025 年度の主な実施事業】

(1) 杉並区での活動

杉並区・杉並公会堂・日本フィル3者の実行委員会で主催する杉並公会堂シリーズは、平日の昼公演開催の取組みも定着しました。

2025年度からは従来の名称「杉並公会堂シリーズ」を「杉並定期演奏会」に改称して6公演が好調に行われました(実行委員会主催3公演、杉並公会堂・日本フィル主催3公演)。

杉並公会堂では、このほか「エデュケーション・プログラム」で報告の通り、夏休みコンサート、春休みオーケストラ探検(日本フィル主催)も内容を充実させて行いました。

区の施設、セシオン杉並とは「60歳からの楽器教室」や「クリスマスコンサート」で、また西荻地域区民センターとの協働で「60歳からの楽器教室」を継続開催いたしました。

このほかに、区役所ロビーコンサート、杉並出張(室内楽)、公開リハーサルを実施、成人式や敬老会での演奏も行いました。

(2) 九州公演(地元実行委員とともに作る通年の地域貢献プログラム)

第51回九州公演：市民との連携で半世紀以上継続する九州全県巡回公演。2026年2月に藤岡幸夫が指揮し、周防亮介(ヴァイオリン)、阪田知樹(ピアノ)をソリストに迎え、九州全県9都市で公演を開催。各地で熱烈的な歓迎を受けました

九州公演は、自主参加の市民による実行委員会がボランティアで日本フィルとともにオーケストラ公演の制作・運営を行うという、世界でも類を見ない運営スタイルで半世紀以上継続実施してきました。

九州における地域と楽団との交流は地道な努力の積み重ねで継続しており、例えば2024年度に楽団との間で締結した大牟田市との友好連携提携もますます深まりを増すなど、地域との結びつきはより確かな形を見せつつあります。

2025年度は、文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業(劇場・音楽堂等間ネットワーク支援構築事業)」の助成(2025年度で助成終了)を受け、また各地実行委員会の総意により、通常の公演を全県9都市の実行委員会と協働して実施し、大きな反響と演奏の手ごたえを得ました。

今後も長年培った地域との絆を礎に、引き続き九州の文化振興のために、より緊密なコミュニケーションと連携を深めたいと考えております。

(3) 宇部公演(自治体、企業、教育関係者と作る地域貢献プログラム)

「UBE クラシックコンサート」は、毎年恒例の UBE 株式会社(旧宇部興産)の地域貢献活動として着実に定着し、18回目の公演となりました。これだけ長く続く地域に密着した企業のコンサートは全国的にも例がありません。

今回も宇部市渡辺翁記念会館で開催され、梅田俊明の指揮で日本フィルが出演しました。モーツァルト《フィガロの結婚》序曲、ホルン協奏曲第1番・第3番(独奏:信末碩才)、ドヴォルザーク《新世界より》が演奏され、端正さと躍動感が共存する舞台となりました。宇部市・山陽小野田市・美祢市の小中学生約400名が無料招待され、地域の音楽文化振興と教育支援の取り組みとしても高く評価されました。公演前日には、恒例となっている中学生吹奏楽部のクリニックや病院・市役所でのアウトリーチ公演を実施しました。

オーケストラ公演の収益は地域の楽器寄贈などに活用され、社会貢献性の高い公演として多くの来場者に温かく迎えられました。

4. 「被災地に音楽を」と「東北の夢プロジェクト」

東日本大震災の被災地におけるリージョナル・アクティビティ、「被災地に音楽を」の活動は大震災の起きた2011年より継続実施されてきました。

2025年度末で活動数は延べ381回となり、東北の各自治体との絆はより深まることができました。

2019年から開始した「東北の夢プロジェクト」では、「新たなオーケストラ支援事業」の助成3年目(最終年度)として活動を活発化させました。

楽団と連携協定を結ぶ岩手県の盛岡市と福島県のいわき市で「東北の夢プロジェクト」公演を実施、また岩手県宮古市、宮城県石巻市、福島県南相馬市では共演団体との事前交流事業も実施しました。また初めて「東北の夢プロジェクト in Tokyo」を東京芸術劇場で実施、東京に被災地の子供たちを呼んで共演を実現させました。

5. コンテンツ・音源事業(公益事業)並びに物品販売(収益事業)

・テレビマンユニオンでのライブ映像配信(公益事業)

東京定期演奏会を中心に配信は定着しました。

・オリジナル CD(公益事業)

オリジナルレーベル「JPRECORDINGS」による CD 制作および配信事業は、夏休みコンサート、九州公演に向けた 2 タイトルを新規リリースしました。

特に九州公演に向けての新制作アイテム「藤岡幸夫:田園／火の鳥」は増産が決定するなど、レーベルの認知と評価は定着しつつあります。

・オリジナルグッズの製造・販売(収益事業)

サンリオとのコラボレーション、雨田光弘氏による T シャツ、カレンダーなどは強い固定ファンに支えられております。

【2025年度の制作アイテム】

演奏会のライブ録音 CD／配信「JPO RECORDINGS レーベル」計3点

オリジナルTシャツ、オリジナルカレンダー(全国カレンダー展入選)。

配信 85タイトル(2025年度新規1タイトル)。

6. 演奏に必要な調査・研究

・アンケート調査の実施:

演奏活動や運営のための参考資料として、楽団員および公演来場者アンケートを実施しました。楽団員アンケートは7割近い有効回答を得ました。

全体として、所属の満足(健全性)、より高い音楽芸術性の志向、また当団の特徴である社会性活動の充実は楽団員の満足度に寄与していること、の3点が確認できました。

公演来場者アンケートは、東京・横浜の両定期演奏会で 2025年10月から12月に実施。演奏会の曲目・お客様の属性ごとの期待やニーズに即した事前メッセージを、デジタルメディアによって発信することが重要であることが明らかとなりました。

そのほか、夏休みコンサートや落合陽一×日本フィルプロジェクトでも、聴衆を対象とした Web アンケート調査を実施し、来場者属性や公演満足度の把握につとめました。

・音楽文化関係資料の収集:

演奏活動やその運営に必要な調査研究資料(楽譜・図書・CD 等)を購入しました。

・演奏音源活用のための調査研究:

著作隣接権等、演奏家の権利保護や音源活用のために必要な権利処理を進めました。

・その他、公益事業を継続、発展させるために必要な調査研究を継続的行いました。

7. 情報発信

メディアとの取組では、首席指揮者カーチュン・ウォンとのマーラー(2025年3月公演)が、2025年4月NHK TV「クラシック音楽館」で放送されるなど、カーチュン・ウォン×日本フィルのメディアでの紹介が着実に進みました。

またマエストロ広上淳一との「オペラの旅 vol.1」も、NHK FM「オペラ・ファンタスティカ」でも放送されました。

創立70周年に向け、9月に石塚理事長とカーチュン・ウォンによる70周年記念演奏会の紹介、1月に社会性活動の紹介を趣旨に記者懇談会を開催しました。

また、楽団新ロゴ発表に合わせて Web サイトをリニューアルし、広報宣伝の媒体として機能を強化しました。紙媒体では年間ラインアップ、チラシ、リーフレットの作成、ポスター掲示、新聞広告を継続。メールマガジン「日本フィル NEWS」、SNS(X,LINE,Instagram)により情報発信に努めました。

音楽評論家奥田佳道氏、評議員村上典吏子氏の多大な協力のもと、2022年より継続している YouTube での「2分でわかる！大人のためのオーケストラ入門」(旧「5分でわかる！…」)は Instagram と X でも視聴可能です。定期演奏会をはじめとする主催公演の曲目について、奥深い面白さを伝える工夫をこらしています。

クラウドファンディング(落合陽一×日本フィルプロジェクト)の継続でも、単にクラシックファンに留まらない多様な層を日本フィルのファンとして取り込む機会が広がりました。

日本フィルは、公益財団法人として必要な情報開示に努めるとともに、ホームページ、活動報告(「こんな活動をしています」)や演奏会プログラム等により、ご支援をいただいている個人・法人・団体などへ積極的に公益目的事業のご報告を行い、活動の意義を発信しております。

8. 楽団へのサポートシステム

特定の大きなスポンサーを持たない日本フィルですが、2025年度も楽団に対するサポートは堅調に推移しました。

2025年度は、新たに「遺贈」受け入れシステムが整備されました。

当団を支える法人・個人の支援システムは以下のとおりです。

法人：特別会員(寄付会員)、個別公演に対する協賛、楽団に対する包括的な協賛

個人：パトロネージュ(寄付会員)、日本フィル協会(寄付会員)、
サポーターズクラブ(会員)、オンライン寄付(小口)、遺贈

＜第三部＞ 資料編

資料1 オーケストラ・コンサート 主催公演各事業の総括

● 東京定期演奏会(サントリーホール、金曜日/土曜日 2 回公演)

2025 年シーズンの東京定期演奏会は、全10公演がサントリーホールで開催され、多彩な指揮者と作品が並ぶ充実のシーズンとなった。4 月はアレクサンダー・リープライヒ(指揮)、コリヤ・ブラッハー(ヴァイオリン)が登壇し、ブラッハー父の協奏曲ほか知的で構築的なプログラムが披露された。5 月は古典派と後期ロマン派を対比させる構成で、オーケストラの柔軟な表現力が際立った。6 月はガボール・タカーチ＝ナジが指揮し、ミクロシュ・ペレーニを迎えて、端正さと熱気が共存する名演となった。7 月はフレンド・オブ・JPOの広上淳一とともに 20-21 世紀音楽を通じて、色彩感とリズムの躍動が夏のホールを満たした。9 月はカーチュン・ウォンがマーラー《交響曲第 6 番「悲劇的」》に挑み、若き首席指揮者の解釈が大きな注目を集めた。10 月は同じくウォンによるショスタコーヴィチの 11 番。元首席指揮者アレクサンドル・ラザレフの薫陶を受けた日本フィルの演奏技術とウォンの新鮮な解釈による新しいショスタコーヴィチ像を打ち立てる事が出来た。10 月末(第 775 回)では小林研一郎が登壇し、千葉清加・安達真理とのモーツァルト《協奏交響曲》、続くシベリウス《交響曲第 2 番》で、楽団の伝統と情熱が凝縮された演奏を聴かせた。11 月(第 776 回)では山田和樹が邦人作品とフレンチを軸にした精緻な音世界を描いた。年明け 1 月は広上による現代を代表する作曲家ファジル・サイとショスタコーヴィチ最後の交響曲第 15 番が取り上げられ、3 月には下野竜也による幻想的で崇高なプログラムでシーズンを締めくくった。全体を通じて、伝統と挑戦が共存する選曲と、指揮者・ソリストの個性が響き合う豊かな一年となった。

◆第 769 回東京定期演奏会 2025 年 4 月 11 日(金)、12 日(土)

指揮:アレクサンダー・リープライヒ ヴァイオリン:コリヤ・ブラッハー

ハイドン:交響曲第 79 番 ボリス・ブラッハー:ヴァイオリン協奏曲

アイヴス:答えのない質問 R.シュトラウス:交響詩《ツァラトゥストラはかく語り》

◆第 770 回東京定期演奏会 2025 年 5 月 9 日(金)、10 日(土)

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:スティーブン・ハフ

芥川:エローラ交響曲 ブリテン:《パゴダの王子》組曲 ブラームス:ピアノ協奏曲第 1 番

◆第 771 回東京定期演奏会 2025 年 6 月 6 日(金)、7 日(土)

指揮:ガボール・タカーチ＝ナジ チェロ:ミクロシュ・ペレーニ

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 モーツァルト:交響曲第 41 番《ジュピター》

◆第 772 回東京定期演奏会 2025 年 7 月 11 日(金)、12 日(土)

指揮:広上淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] バス・クラリネット:フランス・ムソー

佐藤聰明:バス・クラリネット協奏曲 ホルスト:組曲《惑星》

◆第 773 回東京定期演奏会 2025 年 9 月 12 日(金)、13 日(土)

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]

マーラー:交響曲第6番《悲劇的》

◆第774回東京定期演奏会 2025年10月17日(金)、18日(土)

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]

ピアノ:小川典子 トランペット:オッタビアーノ・クリストーフォリ[ソロ・トランペット]

ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲第1番 ショスタコーヴィチ:交響曲第11番《1905年》

◆第775回東京定期演奏会 2025年10月31日(金)、11月1日(土)

指揮:小林研一郎[桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン:千葉清加[アシスタント・コンサートマスター] ヴィオラ:安達真理[客演首席奏者]

モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 シベリウス:交響曲第2番

◆第776回東京定期演奏会 2025年11月28日(金)、29日(土)

指揮:山田和樹 ソプラノ:熊木夕葉** バリトン:加未徹* 合唱団:東京音楽大学

武満徹:My way of life* ラヴェル:ボレロ プーランク:スターバト・マーテル**

◆第777回 東京定期演奏会 2026年1月16日(金)、17日(土)

指揮:広上淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] チェロ:カミーユ・トマ

サイ:チェロ協奏曲《Never give up》 ショスタコーヴィチ:交響曲第15番

◆第778回東京定期演奏会 2026年3月13日(金)、14日(土)

指揮:下野竜也 ピアノ:野田清隆

サミー・ムーサ:エリジウム マイケル・ナイマン:ピアノ協奏曲 シベリウス:交響曲第6番

● 横浜定期演奏会(横浜みなとみらいホール)

2025年4月から2026年3月にかけての日本フィル横浜定期演奏会は、創立70周年を翌年に控える中、各月で異なる個性が際立つ充実のシーズンとなった。4月は横山幸雄が弾き振りでオール・ショパンを披露し、協奏曲と交響的作品を通じて作曲家の魅力を立体的に描いた。5月はガボール・タカーチ＝ナジが初登壇し、三浦謙司を迎えて透明感と民族色が交錯するプログラムで聴衆を魅了した。6月は小林研一郎が登場。千葉清加が独奏で登壇、緊張感と熱気に満ちた王道プログラムを披露した。7月公演では原田慶太楼と阪田知樹によるオール・ラフマニノフが実施され、若いエネルギーと濃密なロマンがホールを満たした。9月はカーチュン・ウォンが高木竜馬と共演し、色彩豊かなサウンドで新シーズンの節目を印象づけた。10月は藤岡幸夫が吉松隆作品を中心に据え、伊藤雄太の独奏による《オリオン・マシーン》と《アトム・ハーツ・クラブ組曲》、そしてシベリウス《交響曲第1番》で現代性と北欧の重厚さを対比させた。11月は若手実力派の指揮者太田弦と高い音楽性と人気を誇るピアニスト牛田智大が登場し満員の客席を美しく魅了した。12月は出口大地指揮による《第九》が年末の横浜を祝祭的に彩り、東京音楽大学の合唱と独唱陣が壮大なクライマックスを築いた。年明け1月はウィーン・フィルのヴァイオリン奏者ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルクによるヴァイオリン独奏と指揮によるニュー・イヤークンサートが祝祭感をもたらし、3月は小林研一郎がモーツァルト《クラリネット協奏曲》とベートーヴェン《英雄》で締めくくった。開演時間の繰り上げやアフターイベントの拡充も好評で、横浜定期の魅力を一段と高める一年となった。

◆第 406 回横浜定期演奏会 2025 年 4 月 19 日(土)

指揮・ピアノ:横山幸雄

ショパン:ポーランドの歌による幻想曲 演奏会用ロンド「クラコヴィアク」 ピアノ協奏曲第 1 番

◆第 407 回横浜定期演奏会 2025 年 5 月 31 日(土)

指揮:ガボール・タカーチ=ナジ ピアノ:三浦謙司

シューベルト:交響曲第 7 番《未完成》 モーツァルト:ピアノ協奏曲第 21 番 コダーイ:組曲《ハーリ・ヤーノシュ》

◆第 408 回横浜定期演奏会 2025 年 6 月 14 日(土)

指揮:小林研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:千葉清加

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第 3 番 マーラー:交響曲第 1 番《巨人》

◆第 409 回横浜定期演奏会 2025 年 7 月 5 日(土)

指揮:原田慶太楼 ピアノ:阪田知樹

ラフマニノフ:ヴォカリーズ、パガニーニの主題による狂詩曲、ラフマニノフ:交響曲第 2 番

◆第 410 回横浜定期演奏会 2025 年 9 月 20 日(土)

指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:高木竜馬

伊福部:SF 交響ファンタジー第 1 番 ラヴェル:ピアノ協奏曲 ドヴォルジャーク:交響曲第 9 番《新世界より》

◆第 411 回横浜定期演奏会 2025 年 10 月 25 日(土)

指揮:藤岡幸夫 トロンボーン:伊藤雄太[首席奏者]

吉松:アトム・ハーツ・クラブ組曲 第1番 吉松:トロンボーン協奏曲《オリオン・マシーン》 シベリウス:交響曲第 1 番

◆第 412 回横浜定期演奏会 2025 年 11 月 22 日(土)

指揮:太田弦 ピアノ:牛田智大

ショパン:ピアノ協奏曲第 2 番 チャイコフスキー:交響曲第 5 番

◆第 413 回横浜定期演奏会 2025 年 12 月 13 日(土)

指揮:出口大地 ソプラノ:砂田愛梨 アルト:山下裕賀 テノール:石井基幾 バリトン:高橋宏典 合唱:東京音楽大学
ベートーヴェン:交響曲第 9 番《合唱》他

◆第 414 回横浜定期演奏会 2026 年 1 月 24 日(土)

指揮・ヴァイオリン:ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク

ベートーヴェン:《献堂式》序曲 モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第 3 番 ヨーゼフ・シュトラウス:わが人生は愛と喜び
J.シュトラウスⅡ世:アンネン・ポルカ、ポルカ《浮気心》、ワルツ《ウィーン気質》、ポルカ・シュネル《帝都はひとつ、ウィーン
はひとつ》、ワルツ《芸術家の生活》

◆第 415 回横浜定期演奏会 2026 年 3 月 21 日(土)

指揮:小林研一郎[桂冠名誉指揮者] クラリネット:伊藤寛隆[首席奏者]

モーツァルト:クラリネット協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第 3 番《英雄》

● 夏休みコンサート

東京・神奈川・埼玉・千葉の各都県で開催。また関連するプログラムを

指揮は園田隆一郎、大井剛史、語りと歌は江原陽子。スターダンサーズ・バレエ団による
「白鳥の湖」と金子三勇士のピアノ・ソロを迎えた 2 バージョンを企画した。エルガー「威風
堂々」など名曲や参加型コーナーも好評で、子どもたちは生演奏やバレエに感動し、会場

は「夏休みコンサート」独特の一体感とともに大いに盛り上がった。一方、公演普及の面では年々教育委員会を通じたチラシ配布が難しくなっており、広報の難しさがそのまま集客数にも反映する結果となった。

● その他の演奏会(首都圏)

ローム株式会社ならびにローム ミュージック ファンデーションから多大なサポートを頂いている桂冠名誉指揮者小林研一郎氏との「コバケン・ワールド」を今年度も実施。第4回となった「コバケン・ワールド in KYOTO」と併せて、無事、好評のうちに全4公演を終えることが出来た。

「第九特別演奏会」も回数は例年通りで無事終了することが出来た。

他にも「名曲コンサート」、「芸劇シリーズ」、そして「特別演奏会」等での公演も、プロフェッショナルのオーケストラとして担うべき大きな役割の一つである「クラシック音楽の普及」にしっかりと取り組むことが出来た。

● 九州公演

51回目を迎えた今回は、指揮に日本フィルと縁が深く、5 回目の九州ツアー登場となった藤岡幸夫氏が参加。ソリストに周防亮介(ヴァイオリン)、阪田知樹(ピアノ)という今を時めく若手名手二人を迎えた。演奏に高い評価を得、また「リージョナル・アクティビティ」項で記載の通り、九州全県での市民と一体となった取組としても好評裡に全公演を終えることができた。期間中病欠者なども出すことなく、公演制作面でも比較的スムーズに進める事が出来た。ただし外部業者(旅行代理店)の認識ミスによる旅行チケット関連でいくつかトラブルがあったため、今後の反省としたい。

● 宇部公演

18 回目となった宇部公演。指揮者に梅田俊明、独奏に日本フィル首席ホルン奏者の信末碩才を迎えて、モーツァルトの協奏曲とドヴォルザークの「新世界交響曲」というプログラムを実施した。リージョナル・アクティビティとして地域貢献活動(地元病院での室内楽コンサートや、中学生を対象とした楽器指導)も着実に遂行した。

● <落合陽一×日本フィル プロジェクト VOL.9《null”する音楽会》>

「テクノロジーによってオーケストラを再構築する」というテーマのもと、2018年から継続している本プロジェクトは、メディア・アーティスト落合陽一の演出によってオーケストラの新たな魅力と価値を広げるとともに、「耳だけで聞かない」ことをモットーに、聴覚と触覚や視覚などの分断を廃し、人間の五感の共感的な「身体性」を演出する数々の取り組みを重ねてきた。2025 年度は東京公演(助成:日本博 2.0)のほか、2025 年大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーとなった落合陽一のシグネチャーイベント(主催:2025

国際博覧会協会))として、計2公演実施。藤倉大の委嘱による日本文化との共同作品委嘱シリーズでは「能楽」を取り上げた。

アンケートでは、例年に引き続き公演満足度が極めて高い結果を得、特に外国人の公演満足度は100%となった。またクラウドファンディングも2回実施、700万円を超える支援をいただいた。

● その他の主な共催事業

・相模原定期演奏会

2025年度は、5月に大友直人と日本フィル・ソロ・トランペットのオッタヴィアーノ・クリストフォリによる華やかなプロ、11月には飯森宣親とフレッシュな若手ピアニスト古海行子によるロマン派・プロという内容をお届けした。

近年は集客数が大きく落ち込んでおり、その改善が大きな課題である。なお26年度はホールの改修時期の重なるため、オーケストラ規模での公演は実施しないが、室内楽のコンサートを1回行う。

・さいたま定期演奏会

年6回＋第九公演という従来通りの回数を実施。地元ニーズを最大限考慮し、芸術性一辺倒ではなく、広く門戸を開いた内容づくりに努めているが、未だコロナ禍以前の集客状況には戻っていない。今度もホールを運営・管理する埼玉県産業文化センターと連携の上、2500という巨大なキャパシティを埋められるよう努めてゆく。

・にじクラ〜トークと笑顔と、音楽と

サントリーホールとの共催による「とっておきアフタヌーン」から2023年よりブランド・リニューアル。俳優の高橋克典を司会に迎え、オルガン・プレコンサートを含む2時間プログラムと出演者のトークはそのままに、年齢ターゲットを撤廃したブランド・リニューアルが功を奏し、2025年度も好調が定着しつつある。

資料2. 2025 年度公演事業一覧

資料 2025 年度公演事業一覧

▲2025 年 4 月 1 日 サントリー入社式／サントリーホール大ホール

指揮：川瀬賢太郎

エルガー：《威風堂々》第1番、ブラームス：交響曲第1番より第4楽章、マスカーニ：歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より間奏曲、外山雄三：管弦楽のためのラプソディ

●2025 年 4 月 6 日 小学生からのクラシックコンサート／ロームシアター京都サウスホール

指揮：園田隆一郎 MC：江原陽子

グリーグ：《ホルベルク組曲》より第1楽章、プロコフィエフ：交響的物語《ピーターと狼》より「猫のテーマ」、プロコフィエフ：交響的物語《ピーターと狼》

●●2025 年 4 月 11,12 日 第769回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール

指揮：アレクサンダー・リープライヒ ヴァイオリン：コリヤ・ブラッハー

ハイドン：交響曲第79番、ボリス・ブラッハー：ヴァイオリン協奏曲、アイヴス：答えのない質問（1906年版）、R. シュトラウス：交響詩《ツァラトゥストラはかく語りき》

★2025 年 4 月 15 日にじくら第7回／サントリーホール大ホール

指揮：広上淳一 ピアノ：小山実稚恵 MC：高橋克典

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番、マックス・スタイナー：《風と共に去りぬ》より「タラのテーマ」、モリコーネ：《ミッション》より「ガブリエルのオーボエ」、ニーノ・ロータ：《ゴッドファーザー》より「愛のテーマ」、ジョン・ウィリアムズ：《レイダース／失われたアーク》より「レイダース・マーチ」、ジョン・ウィリアムズ：《ジュラシック・パーク》より

●2025 年 4 月 19 日 第406回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール

指揮（弾き振り）：横山幸雄

ショパン：ポーランドの歌による幻想曲、ショパン：演奏会用ロンド《クラコヴィアク》へ長調op. 14、ショパン：ピアノ協奏曲第1番（通常版）

●●2025 年 4 月 26,27 日 オペラの旅Vol. 1／サントリーホール大ホール

指揮：広上淳一 合唱：東京音楽大学 アメーリア：中村恵理 リッカルド：宮里直樹 レナート：池内響 オスカル：盛岡麻央 ウルリカ：福原寿美枝 シルヴァーノ：高橋宏典 サムエル：田中大揮 トム：杉尾真吾 演出：高島勲 舞台監督：幸泉浩司 振付・ダンサー：広崎うらん ダンサー：佐藤洋介、池田美佳 衣裳：桜井久美 照明：岩品武顕

ヴェルディ：歌劇《仮面舞踏会》全3幕

▲2025 年 4 月 30 日 岩手県文化振興事業団創立40周年記念事業／トーサイクラシックホール岩手

指揮：沼尻竜典 チェロ：佐藤晴真

ドヴォルジャーク：チェロ協奏曲、ベートーヴェン：交響曲第7番

●●2025 年 5 月 9,10 日 第770回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール

指揮：カーチン・ウォン ピアノ：スティーブン・ハフ

芥川也寸志：エローラ交響曲、ブリテン：バレエ音楽《パゴダの王子》組曲、ブラームス：ピアノ協奏曲第1番

●2025 年 5 月 14 日 明日へ響け！オーケストラ in 釜石／釜石市民ホール TETTO

指揮：和田一樹 MC：石井あみ ゲスト…歌：佐野よりこ 尺八：大久保正人 合唱：釜石高校音楽部

ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、J. シュトラウスⅡ世：ポルカ《観光列車》、J. シュトラウスⅡ世：ポルカ《雷鳴と電光》、アンダーソン：シンコペーテッド・クロック、ブラームス：ハンガリー舞曲第5番、オッフエンバック：歌劇《天国と地獄》序曲より「カンカン・ダンス」、マスカーニ：歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より間奏曲、エルガー：《威風堂々》第1番（夏休みコンサート版）、連続テレビ小説「あまちゃん」オープニングテーマ、連続テレビ小説「あまちゃん」より《潮騒のメモリー》、釜石民謡：南部木挽唄、宮沢賢治：星巡りの歌、あんべ光俊：イーハトーブの風、釜石市民歌

▲2025 年 5 月 17 日 第75回杉並定期演奏会／杉並公会堂大ホール

●2025 年 5 月 18 日 第25回相模原定期演奏会／相模女子大学グリーンホール

指揮：大友直人 トランペット：オッタビアーノ・クリストフォリ

ベルリオーズ：序曲《ローマの謝肉祭》、アルチュニアン：トランペット協奏曲、ベルリオーズ：幻想交響曲

★2025 年 5 月 24 日 第149回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール

●2025 年 5 月 25 日 第410回名曲コンサート／サントリーホール大ホール

指揮：カーチン・ウォン ヴァイオリン：服部百音

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲、マーラー：交響曲第5番

▲2025 年 5 月 28 日 日本大学第三中学・高等学校音楽鑑賞会／横浜みなとみらいホール

指揮：藤岡幸夫

ワーグナー：楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》より第1幕への前奏曲、チャイコフスキー：弦楽セレナーデより

第1楽章、ビゼー：カルメン組曲より「闘牛士の行進」「プレリュード（運命の動機）」「アラゴネーズ」「間奏曲」「ジプシーの踊り」、チャイコフスキー：交響曲第5番

●2025年5月31日第407回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール

指揮：ガボール・タカーチ＝ナジ ピアノ：三浦謙司 ツィンバロン：齊藤浩

シューベルト：交響曲第7番《未完成》、モーツァルト：ピアノ協奏曲第21番、コダーイ：《ハーリ・ヤーノシュ》組曲

●●2025年6月6,7日第771回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール

指揮：ガボール・タカーチ＝ナジ チェロ：ミクローシュ・ペレーニ

ドヴォルジャーク：チェロ協奏曲、ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲、モーツァルト：交響曲第41番《ジュピター》

▲2025年6月10日第1回茨城県日本フィルハーモニー交響楽団演奏会／ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県立県民センター）

指揮：藤岡幸夫 ヴァイオリン：東亮汰

モーツァルト：歌劇《フィガロの結婚》序曲、エルガー：愛の挨拶、モンティ：チャルダッシュ、ラフマニノフ（萩森英明編）：パガニーニの主題による狂詩曲第18変奏、ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》

●2025年6月14日第408回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール

●2025年6月15日コパケン・ワールド Vol.40／サントリーホール大ホール

指揮：小林研一郎 ヴァイオリン：千葉清加

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番、マーラー：交響曲第1番《巨人》

▲2025年6月18日日本大学豊山女子高等学校・中学校 令和7年度芸術鑑賞会／和光市民文化センター・サンアゼリア

指揮：鈴木織衛

綿村松輝（星出尚志編）：日大豊山女子高中校歌、J.シュトラウスⅡ世：喜歌劇《こうもり》序曲、マスカーニ：歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より間奏曲、ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」「プレリュード（運命の動機）」「アラゴネーズ」「間奏曲」「ジプシーの踊り」、ドヴォルジャーク：交響曲第9番《新世界より》

▲2025年6月21日第129回府中どりーむコンサート／府中の森芸術劇場どりーむホール

指揮：小林研一郎 ヴァイオリン：神尾真由子

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲、ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》

▲▲2025年6月24日

▲▲2025年6月25日

▲2025年6月26日

杉並音楽鑑賞教室【小学校】／杉並公会堂大ホール 指揮：平石章人

ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、アンダーソン：プリנק・プランク・ブルンク、グリーグ：劇音楽《パール・ギュント》より「山の魔王の宮殿にて」、マスカーニ：歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より間奏曲、ブラームス：ハンガリー舞曲第5番、ドヴォルジャーク：第9番《新世界より》第4楽章

▲2025年6月26日

▲▲2025年6月27日

杉並音楽鑑賞教室【中学校】 指揮：平石章人 テノール：所谷直生／杉並公会堂大ホール

ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》より第1楽章、【楽器紹介（木管→金管→打→Hp→弦楽器）】、モーツァルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、ヴェルディ：歌劇《リゴレット》より「女心のうた」、プッチーニ：歌劇《トゥーランドット》より「誰も寝てはならぬ」、グリーグ：劇音楽《パール・ギュント》より「山の魔王の宮殿にて」、スメタナ：交響詩《わが祖国》より「モルダウ」

★2025年7月4日第150回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール

●2025年7月5日第409回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール

指揮：原田慶太楼 ピアノ：阪田知樹

ラフマニノフ：ヴォカリーズ（管弦楽版）、ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲、ラフマニノフ：交響曲第2番

▲2025年7月6日第76回杉並定期演奏会／杉並公会堂大ホール

指揮：原田慶太楼 ピアノ：松田華音

ラフマニノフ：ヴォカリーズ（管弦楽版）、ラヴェル：ピアノ協奏曲、ラフマニノフ：交響曲第2番

●●2025年7月11,12日第772回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール

指揮：広上淳一 バスクラリネット：フランス・ムソー 合唱：東京音楽大学

佐藤聰明：バスクラリネット協奏曲《ヴァン・ゴッホへのオマージュ》[世界初演]、ホルスト：組曲《惑星》

第51回夏休みコンサート2025

●2025年7月19日 相模女子大学グリーンホール

●2025年7月20日 森のホール21（松戸）

●2025年7月21日 府中の森芸術劇場どりーむホール

▲2025年7月22日 杉並公会堂大ホール

●●2025年7月25日 横浜みなとみらいホール

●●2025年7月26日 大宮ソニックシティ大ホール
 ●●2025年7月27日 サントリーホール大ホール
 ●2025年7月29日 ロームシアター京都メインホール
 指揮:園田隆一郎 お話とうた:江原陽子 出演:スターダンサーズ・バレエ団 振付・演出:鈴木稔
 【第1部】エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、ハチャトゥリアン:《仮面舞踏会》よりワルツ、アンダーソン:
 ジャズ・レガート、リムスキー=コルサコフ:《スペイン奇想曲》よりファンダンゴ
 【第2部】チャイコフスキー:バレエ音楽《白鳥の湖》(日本フィル夏休みコンサート版)
 【第3部】上柴はじめ:だれにだってお誕生日、井上武士(藤原豊編):うみ(唱歌)、馬飼野康二(和田薫編):勇気100%
 ●●2025年8月1日 サントリーホール大ホール
 ●●2025年8月2日 横浜みなとみらいホール
 ●●2025年8月4日 東京オペラシティ
 ●2025年8月24日 ウェスタ川越
 指揮:大井剛史 お話と歌:江原陽子 ピアノ:金子三勇士
 【第1部】エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、ハチャトゥリアン:《仮面舞踏会》よりワルツ、アンダーソン:
 ジャズ・レガート、リムスキー=コルサコフ:《スペイン奇想曲》よりファンダンゴ
 【第2部】バルトーク:オスティナート、ベートーヴェン:エリーゼのために、リスト:ラ・カンパネラ、ラフマニノフ:ピアノ協奏
 曲第2番より第1楽章
 【第3部】上柴はじめ:だれにだってお誕生日、井上武士(藤原豊編):うみ(唱歌)、馬飼野康二(和田薫編):勇気100%
 ●2025年8月6日東北の夢プロジェクト 2025 in 岩手/トーサイクラシックホール岩手
 指揮:大井剛史 お話とうた:石井あみ ピアノ:金子三勇士 ゲスト団体:岩手大学教育学部附属小学校合唱部、牛伏
 郷土芸能保存会
 【第1部】エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、アンダーソン:ジャズ・レガート、リムスキー=コルサコフ:
 《スペイン奇想曲》よりファンダンゴ
 【第2部】ベートーヴェン:エリーゼのために、リスト:ラ・カンパネラ、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番より第1楽章
 【第3部】岩手大学教育学部附属小学校合唱部、牛伏郷土芸能保存会
 【第4部】井上武士(藤原豊編):うみ(唱歌)、馬飼野康二(和田薫編):勇気100%
 ▲2025年8月9日フェスタサマーミュージザ KAWASAKI2025/ミュージザ川崎シンフォニーホール
 指揮:下野竜也 チェロ:宮田大
 小山清茂:管弦楽のための鄙歌第2番、サン=サーンス:チェロ協奏曲第1番、ドヴォルジャーク:交響曲第8番
 ●2025年8月11日東北の夢プロジェクト 2025 in 福島/いわきアリオス
 指揮:大井剛史 お話とうた:石井あみ ピアノ:金子三勇士 ゲスト団体:MJC アンサンブル、福島県立小名浜海星高
 等学校チーム「じゃんがら」
 【第1部】エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、アンダーソン:ジャズ・レガート、リムスキー=コルサコフ:
 《スペイン奇想曲》よりファンダンゴ
 【第2部】ベートーヴェン:エリーゼのために、リスト:ラ・カンパネラ、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番より第1楽章
 【第3部】MJC アンサンブル、福島県立小名浜海星高等学校チーム「じゃんがら」
 【第4部】井上武士(藤原豊編):うみ(唱歌)、馬飼野康二(和田薫編):勇気100%
 ●2025年8月21日落合陽×日本フィルプロジェクト Vol.9《null²する音楽会》/サントリーホール大ホール
 指揮:広上淳一 総合演出:落合陽一 映像演出:WOW MC:江原陽子 シテ:馬野正基 狂言:野村万蔵、野村万之
 丞、野村拳之介、野村真之介 囃子方:笛/杉信太郎 小鼓/清水和音 大鼓/大蔵慶乃助 太鼓/澤田晃良 地謡:
 浅見慈一、北浪貴裕、長山桂三、小早川康充
 團伊玖磨:祝典行進曲、武満徹:訓練と休息の音楽-『ホゼー・トレス』より、林光:国盗り物語、菅野祐悟:軍師官兵衛、
 久石譲:『天空の城ラピュタ』より「ハトと少年」、坂本龍一:THE LAST EMPEROR、藤倉大:「Water Mirror」承前
 啓後継往開来Ⅲ(世界初演)、レスピーギ:ローマの松
 ▲2025年8月30日 null²する音楽会 Supported by ローム ミュージック ファンデーション(大阪万博)/大阪・
 関西万博 EXPO ホール シャインハット
 指揮:広上淳一 総合演出:落合陽一 映像演出:WOW MC:江原陽子 シテ:馬野正基 狂言:野村万蔵、野村万之
 丞、野村拳之介、野村真之介、囃子方:笛/赤井要佑 小鼓/上田敦史 大鼓/山本寿弥 太鼓/上田慎也 地謡:山
 中雅志、上野朝彦、笠田祐樹、藤井文雄
 團伊玖磨:祝典行進曲、武満徹:訓練と休息の音楽-『ホゼー・トレス』より、林光:国盗り物語、菅野祐悟:軍師官兵衛、
 久石譲:『天空の城ラピュタ』より「ハトと少年」、坂本龍一:THE LAST EMPEROR、藤倉大:「Water Mirror」承前
 啓後継往開来Ⅲ(世界初演)、レスピーギ:ローマの松
 ▲2025年9月3日【第1クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)/三郷市立高州東小学校(埼玉)
 指揮:碓山隆一郎 ソプラノ:今井実希
 ビゼー:歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打→Hp→弦)】、モーツァルト:《アイネ・クライ
 ネ・ナハトムジーク》より第1楽章、ヴェルディ:歌劇《椿姫》より「乾杯の歌」、オフエンバック:歌劇《ホフマン物語》より
 「オランピアのアリア」、【合唱共演/ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》より(岩佐東一郎詞:よろこびの歌)】、チャイコ

フスキー:バレエ組曲《白鳥の湖》より情景、ビゼー:《アルルの女》第2組曲第4曲「ファランドール」、アンコール1/校歌、アンコール2/J. シュトラウスI世:ラデツキー行進曲

▲2025年9月6日荒川フレッシュ名曲コンサート/サンパール荒川

指揮:齋藤友香理 ピアノ:島多璃音

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》、ベートーヴェン:交響曲第7番

●●2025年9月12,13日第773回東京定期演奏会/サントリーホール大ホール

指揮:カーチュン・ウォン

マーラー:交響曲第6番《悲劇的》

★2025年9月17日にじクラ第8回/サントリーホール大ホール

指揮:川瀬賢太郎 チェロ:上野通明 MC:高橋克典

J. S. バッハ:無伴奏チェロ組曲第1番ト長調 BWV1007 よりプレリュード、フレスコバルディ(カサド/小林幸太郎編):

トッカータ、ブルッフ:コル・ニドライ、ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》

●2025年9月20日第410回横浜定期演奏会/横浜みなとみらいホール

●2025年9月21日第256回芸劇シリーズ/東京芸術劇場コンサートホール

指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:高木竜馬

伊福部昭:SF 交響ファンタジー第1番、ラヴェル:ピアノ協奏曲、ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》

▲2025年9月23日第77回杉並定期演奏会/杉並公会堂大ホール

指揮:小林研一郎 ヴァイオリン:戸澤采紀

ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲、ブラームス:交響曲第4番

★2025年9月27日第151回さいたま定期演奏会/大宮ソニックシティ大ホール

●2025年9月28日コパケン・ワールド Vol.41/サントリーホール大ホール

指揮:小林研一郎 ヴァイオリン:神尾真由子

サン＝サーンス:ヴァイオリン協奏曲第3番、チャイコフスキー:交響曲第5番

▲2025年10月4日立川フレッシュ名曲コンサート/たましん RISURU ホール

指揮:鈴木優人 ピアノ:吉原清香

ショパン:ピアノ協奏曲第1番、ブラームス:交響曲第1番

▲2025年10月5日練馬フレッシュ名曲コンサート/練馬文化センター

指揮:大井駿 ギター:山下愛陽

ロッシーニ:歌劇《セビリアの理髪師》序曲、ロドリゴ:アランフェス協奏曲、シベリウス:交響曲第2番

★2025年10月8日日本フィル×ピティナショパンコンサート/サントリーホール大ホール

指揮:横山幸雄 ピアノ:古海行子、関本昌平、稲沢朋華

ショパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ、ショパン:ピアノ協奏曲第2番、ショパン:ピアノ協奏曲第1番

▲2025年10月12日第18回UBE クラシックコンサート/渡辺翁記念会館

指揮:梅田俊明 ホルン:信末碩才

モーツァルト:歌劇《フィガロの結婚》序曲、モーツァルト:ホルン協奏曲第1番、モーツァルト:ホルン協奏曲第3番、ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》

●●2025年10月17,18日第774回東京定期演奏会/サントリーホール大ホール

指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:小川典子 トランペット:オッタビーアノ・クリストーフォリ

ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲第1番、ショスタコーヴィチ:交響曲第11番《1905年》

●2025年10月25日第411回横浜定期演奏会/横浜みなとみらいホール

指揮:藤岡幸夫 トロンボーン:伊藤雄太

吉松隆:アトム・ハーツ・クラブ組曲第1番、吉松隆:トロンボーン協奏曲《オリオン・マシーン》、シベリウス:交響曲第1番

●2025年10月26日第411回名曲コンサート(協賛:エレコム)/サントリーホール大ホール

指揮:大井剛史 合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団 ソプラノ:宮地江奈 メゾソプラノ:富岡明子 テノール:櫻田亮 バリトン:黒田祐貴

オルガン:石丸由佳

J. S. バッハ:オルガン協奏曲 イ短調 BWV593 *オルガン独奏、モーツァルト:教会ソナタより第12番K. 263、第14番K. 278、第17番K. 336、

モーツァルト:レクイエム(ジュスマイヤー版)、モーツァルト:アヴェ・ヴェルム・コルプス

●●2025年10月31日、11月1日第775回東京定期演奏会/サントリーホール大ホール

指揮:小林研一郎 ヴァイオリン:千葉清加 ヴィオラ:安達真理

モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲、シベリウス:交響曲第2番

●2025年11月3日コパケン・ワールド in KYOTO Vol.5/ロームシアター京都メインホール

指揮:小林研一郎 チェロ:宮田大

グリーンカ:歌劇《ルスランとリユドミラ》序曲、チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲、ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》

▲2025年11月8日第26回相模原定期演奏会／相模女子大学グリーンホール
指揮：飯森範親 ピアノ：古海行子
グリーク：ピアノ協奏曲、ドヴォルジャーク：交響曲第9番《新世界より》

▲2025年11月12日昭和女子大学音楽鑑賞会／昭和女子大学 人見記念講堂
指揮：鈴木織衛 ヴァイオリン：東亮汰 チェロ：門脇大樹 ピアノ：角野未来
J. シュトラウスⅡ世：喜歌劇《こうもり》序曲、サラサーテ：カルメン幻想曲、ドヴォルジャーク：チェロ協奏曲より第1楽章、
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番(全楽章)

★2025年11月15日第152回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール

●2025年11月16日第257回芸劇シリーズ／東京芸術劇場コンサートホール
指揮：西本智実 ヴァイオリン：金川真弓
ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲(カデンツァ：シュナイダーハン版)、ドビュッシー：小組曲、ラヴェル：ボレロ

▲2025年11月19日【第2クール】文化芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／那須町立学びの森小学校(栃木)
指揮：喜古恵理香 ソプラノ：今井実希
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打→Hp→弦)】、モーツァルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、ヴェルディ：歌劇《椿姫》より「乾杯の歌」、オフエンバック：歌劇《ホフマン物語》より「オランピアのアリア」、【合唱共演／ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》より(岩佐東一郎詞：よろこびの歌)】、チャイコフスキー：バレエ組曲《白鳥の湖》より情景、ビゼー：《アルルの女》第2組曲第4曲「ファランドール」、アンコール1／校歌、アンコール2／J. シュトラウスⅠ世：ラデツキー行進曲

▲2025年11月20日【第2クール】文化芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／大正堂くろいそみるひいホール(那須塩原市黒磯文化会館)(那須塩原市立黒磯北中学校(栃木))
指揮：喜古恵理香 ヴァイオリン：水野琴音
ロッシニ：歌劇《ウィリアム・テル》序曲より「スイス軍の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打→Hp→弦)】、ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲《四季》より「春」、ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番より第3楽章、【指揮者体験／ブラームス：ハンガリー舞曲第5番】、ボロディン：歌劇《イーゴリ公》より「だったん人の踊り」、アンコール1／校歌、アンコール2／J. シュトラウスⅠ世：ラデツキー行進曲

●2025年11月22日第412回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール

▲2025年11月23日第78回杉並定期演奏会／杉並公会堂大ホール
指揮：太田弦 ピアノ：牛田智大
ショパン：ピアノ協奏曲第2番、チャイコフスキー：交響曲第5番

●●2025年11月28、29日 第776回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール
指揮：山田和樹 バリトン：加来徹 ソプラノ：熊木夕菜 合唱：東京音楽大学、harmonia ensemble
ドビュッシー：舞踊詩《遊戯》、武満徹：My way of life、ラヴェル：ボレロ、プーランク：スターバト・マーテル

▲▲2025年12月2日【第3クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／越谷市立蒲生小学校(埼玉)
指揮：碓山隆一郎 ソプラノ：今井実希
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、ヴェルディ：歌劇《椿姫》より「乾杯の歌」、プッチーニ：歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「私のお父さん」、【指揮者体験／ブラームス：ハンガリー舞曲第5番】、チャイコフスキー：バレエ組曲《白鳥の湖》より情景、ビゼー：《アルルの女》第2組曲第4曲「ファランドール」、アンコール1／校歌、アンコール2／J. シュトラウスⅠ世：ラデツキー行進曲

▲2025年12月3日【第3クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／深谷市立八基小学校(埼玉)
指揮：碓山隆一郎 ソプラノ：今井実希
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打→Hp→弦)】、モーツァルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、ヴェルディ：歌劇《椿姫》より「乾杯の歌」、オフエンバック：歌劇《ホフマン物語》より「オランピアのアリア」、【指揮者体験／ブラームス：ハンガリー舞曲第5番】、チャイコフスキー：バレエ組曲《白鳥の湖》より情景、ビゼー：《アルルの女》第2組曲第4曲「ファランドール」、アンコール1／校歌、アンコール2／J. シュトラウスⅠ世：ラデツキー行進曲

▲2025年12月6日宇都宮第九演奏会／宇都宮市文化会館
指揮：広上淳一 合唱：宇都宮第九合唱団 ソプラノ：砂川涼子 メゾソプラノ：金子美香 テノール：工藤和真 バリトン：高橋宏典
モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス、ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

▲2025年12月7日東京フロイデ合唱団第25回演奏会／東京芸術劇場コンサートホール
指揮：小松長生 合唱：東京フロイデ合唱団
ヴェルディ：歌劇《アイーダ》より「凱旋行進曲」(合唱付き)、ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

★2025年12月12日ソニックシティ「第九」演奏会 2025／大宮ソニックシティ大ホール
指揮：出口大地 ピアノ：鈴木愛美 合唱：埼玉第九合唱団 ソプラノ：砂田愛梨 メゾソプラノ：山下裕賀 テノール：石井基幾 バリトン：高橋宏典
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番、ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

●2025年12月13日第413回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール

●2025 年 12 月 14 日第九特別演奏会(協賛:エレコム)／サントリーホール大ホール
指揮:出口大地 合唱:東京音楽大学(13 日)、日本フィルハーモニー協会合唱団(14 日) ソプラノ:砂田愛梨 メゾソプラノ:山下裕賀 テノール:石井基幾、バリトン:高橋宏典
ウェバー:歌劇《オベロン》序曲、ベートーヴェン:交響曲第 9 番《合唱》

▲2025 年 12 月 16 日【第 4 クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／島田市立初倉南小学校(静岡)
指揮:喜古恵理香 ソプラノ:今井実希
ビゼー:歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打→Hp→弦)】、モーツァルト:《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第 1 楽章、ヴェルディ:歌劇《椿姫》より「乾杯の歌」、オッフェンバック:歌劇《ホフマン物語》より「オランピアのアリア」、【合唱共演/ベートーヴェン:交響曲第 9 番《合唱》より(岩佐東一郎詞:よろこびの歌)】、チャイコフスキー:バレエ組曲《白鳥の湖》より情景、ビゼー:《アルルの女》第 2 組曲第 4 曲「ファランドール」、アンコール 1/校歌、アンコール 2/J. シュトラウス I 世:ラデツキー行進曲

●2025 年 12 月 20 日第九特別演奏会(協賛:ローム)／サントリーホール大ホール
●2025 年 12 月 21 日第九特別演奏会(協賛:千代田化工)／横浜みなとみらいホール
●2025 年 12 月 23 日第九特別演奏会(第 258 回芸劇シリーズ)(協賛:非破壊検査)／東京芸術劇場コンサートホール
●2025 年 12 月 27 日第九特別演奏会(第 259 回芸劇シリーズ)(協賛:大栄不動産)／東京芸術劇場コンサートホール
●2025 年 12 月 28 日第九特別演奏会(第 260 回芸劇シリーズ)(協賛:ウエルシアホールディングス)／東京芸術劇場コンサートホール
指揮:小林研一郎 合唱:東京音楽大学(20,21 日)、武蔵野合唱団(23 日)、日本フィルハーモニー協会合唱団(27,28 日)、オルガン:石丸由佳、ソプラノ:小川葉奈 メゾソプラノ:山下牧子 テノール:錦織健 バリトン:寺田功治(20,21,23 日)、青山貴(27,28 日)
メンデルゾーン:オルガンソナタ第 1 番よりアダージョ、パッヘルベル:クリスマス・コラール「高き天よりわれは来たり」、J.S.バッハ:トッカータとフーガニ短調 BWV565(以上 3 曲オルガン独奏)、ベートーヴェン:交響曲第 9 番《合唱》

●2026 年 1 月 7 日東北の夢プロジェクト in 東京／東京芸術劇場コンサートホール
指揮:永峰大輔 ナビゲーター:江原陽子 ピアノ:上原彩子 ゲスト:福島県合唱連盟県南支部「合唱塾」、赤澤芸能保存会[赤澤鑑剣舞]
【第 1 部】
J.シュトラウスⅡ世:喜歌劇《こうもり》序曲、ラヴェル:ピアノ協奏曲 ト長調
【第 2 部】こどもたちのステージ
《①合唱 福島県合唱連盟県南支部「合唱塾」(郡山市)》
田中達也編:冬の童謡唱歌メドレー(冬の星座～雪～冬の夜～たき火～冬景色)、なかにしあかね:朝焼けの空に
《②赤澤芸能保存会[赤澤鑑剣舞](大船渡市)》
扇子の踊り 十三番庭 七つ子(ななつご)
【第 3 部】
《合唱&オーケストラ》
宮沢賢治(星出和宏編):星めぐりの歌、小田美樹(信長貴富編):群青、ラヴェル:ボレロ
▲2026 年 1 月 10 日第 79 回杉並定期演奏会／杉並公会堂大ホール
●2026 年 1 月 11 日第 412 回名曲コンサート／サントリーホール大ホール
指揮:小林研一郎
J.シュトラウスⅡ世:ワルツ《美しく青きドナウ》、J.シュトラウスⅡ世&ヨーゼフ・シュトラウス:ピツィカート・ポルカ、スメタナ:交響詩《モルダウ》、ドヴォルジャーク:交響曲第 9 番《新世界より》
●●2026 年 1 月 16,17 日第 777 回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール
指揮:広上淳一 チェロ:カミーユ・トマ
サイ:チェロ協奏曲《Never give up》、ショスタコーヴィチ:交響曲第 15 番
★2026 年 1 月 21 日にじクラ第 9 回／サントリーホール大ホール
指揮:坂入健司郎 ヴァイオリン:高木凜々子 MC:高橋克典
サラサーテ:カルメン幻想曲、ラヴェル:ツィガース、ビゼー:カルメン組曲より「闘牛士の行進」「衛兵の交代」「ハバネラ」「セギディーリャ」「アルカラの竜騎兵」「闘牛士の歌」「間奏曲」「密輸入者の行進」「アラゴネーズ」「前奏曲(運命の動機)」
※高橋克典さんによる語り付き
●2026 年 1 月 24 日第 414 回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール
指揮(ヴァイオリン弾き振り):ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク
ベートーヴェン:序曲《献堂式》、モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第 3 番、ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ《わが人生は愛と喜び》、J.シュトラウスⅡ世:アンネン・ポルカ、J.シュトラウスⅡ世:ポルカ《浮気心》、J.シュトラウスⅡ世:ワルツ《ウィーン気質》、J.シュトラウスⅡ世:ポルカ《帝都は一つ、ウィーンは一つ》、J.シュトラウスⅡ世:ワルツ《芸術家の生活》
★2026 年 1 月 31 日第 153 回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール
指揮:飯森範親 バレエ:牧阿佐美バレエ団

ハチャトゥリアン:《仮面舞踏会》からワルツ、J.シュトラウスⅡ世:ワルツ《美しく青きドナウ》、J.シュトラウスⅡ世:トリッチ・トラッチ・ポルカ、J.シュトラウスⅡ世:ポルカ・シュネル《元気にやろうぜ》、J.シュトラウスⅡ世:ポルカ・シュネル《ハンガリー万歳!》、チャイコフスキー:《白鳥の湖》より情景(第2幕冒頭)、チャイコフスキー:《白鳥の湖》より「ワルツ」、チャイコフスキー:《くるみ割り人形》より「トレパック」、チャイコフスキー:《くるみ割り人形》より「花のワルツ」、ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》

▲2026年2月1日品川フレッシュ名曲コンサート／きゅりあん

指揮:円光寺雅彦 トランペット:東川理恩

モーツァルト:歌劇《魔笛》序曲、ハイドン:トランペット協奏曲、チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》

●2026年2月7日第51回九州公演(鹿児島)／宝山ホール

指揮:藤岡幸夫 ヴァイオリン:周防亮介

モーツァルト:歌劇《魔笛》序曲、ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》

●2026年2月8日第51回九州公演(宮崎)／メディキット県民文化センター

指揮:藤岡幸夫 ヴァイオリン:周防亮介

モーツァルト:歌劇《魔笛》序曲、ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ストラヴィンスキー:バレエ組曲《火の鳥》[1919年版]＊藤岡氏前説つき

●2026年2月10日第51回九州公演(大分)／iichiko グランシアタ

指揮:藤岡幸夫 ヴァイオリン:周防亮介

モーツァルト:歌劇《魔笛》序曲、ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ストラヴィンスキー:バレエ組曲《火の鳥》[1919年版]＊藤岡氏前説つき

●2026年2月11日第51回九州公演(北九州)／J:COM 北九州芸術劇場

指揮:藤岡幸夫 ヴァイオリン:周防亮介

モーツァルト:歌劇《魔笛》序曲、ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》

●2026年2月12日第51回九州公演(熊本)／熊本県立劇場

指揮:藤岡幸夫 ヴァイオリン:周防亮介

モーツァルト:歌劇《魔笛》序曲、ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ストラヴィンスキー:バレエ組曲《火の鳥》[1919年版]＊藤岡氏前説つき

●2026年2月14日第51回九州公演(大牟田)／大牟田文化会館

指揮:藤岡幸夫 ピアノ:阪田知樹

チャイコフスキー:バレエ音楽《くるみ割り人形》より「花のワルツ」、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番、ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》

●2026年2月15日第51回九州公演(福岡)／アクロス福岡シンフォニーホール

指揮:藤岡幸夫 ヴァイオリン:周防亮介

モーツァルト:歌劇《魔笛》序曲、ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番、ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》

●2026年2月17日第51回九州公演(佐賀)／佐賀市文化会館

指揮:藤岡幸夫 ピアノ:阪田知樹

チャイコフスキー:バレエ音楽《くるみ割り人形》より「花のワルツ」、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番、ストラヴィンスキー:バレエ音楽《火の鳥》[1919年版]＊藤岡氏前説つき

●2026年2月18日第51回九州公演(長崎)／ベネックス長崎ブリックホール

指揮:藤岡幸夫 ピアノ:阪田知樹

チャイコフスキー:バレエ音楽《くるみ割り人形》より「花のワルツ」、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番、ストラヴィンスキー:バレエ音楽《火の鳥》[1919年版]＊藤岡氏前説つき

▲2026年2月24日都民音楽フェスティバル／東京芸術劇場コンサートホール

指揮:碓山隆一郎 ピアノ:中野翔太

外山雄三:管弦楽のためのラブソディ、ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲、チャイコフスキー:交響曲第5番

▲2026年2月28日子どもたちと芸術家の出あう街／東京芸術劇場コンサートホール

指揮:岩村力 舞踊:平富恵スペイン舞踊団 歌とお話:吉田仁美

スーザ:星条旗よ永遠なれ、アンダーソン:ワルツィング・キャット、オッフェンバック:喜歌劇《天国と地獄》序曲より「カンカン・ダンス」、星野源(福嶋頼秀編):ドラえもん、ビゼー:《カルメン》第1組曲より「アラゴネーズ」、ファリャ:バレエ音楽《恋は魔術師》より「火祭りの踊り」、ファリャ:歌劇《はかなき人生》よりスペイン舞曲第1番、チャイコフスキー:バレエ音楽《くるみ割り人形》より「花のワルツ」、ピアソラ(福嶋頼秀編):リベルタンゴ、リムスキー=コルサコフ:スペイン奇想曲より第3、4、5楽章

▲2026年3月1日第132回府中どりーむコンサート(フレッシュ名曲)／府中の森芸術劇場どりーむホール

指揮:藤岡幸夫 ヴァイオリン:水野琴音

ブラームス:ヴァイオリン協奏曲、チャイコフスキー:交響曲第4番

●2026年3月4日オービック・スペシャル・コンサート／サントリーホール大ホール

指揮:小林研一郎 テノール:笛田博昭 合唱:武蔵野合唱団 MC:朝岡聡

ヴェルディ:歌劇《運命の力》序曲、ヴェルディ:《レクイエム》より「冒頭から55小節目～怒りの日～くすしきラッパの音」、

「サンクトゥス」、ヴェルディ：歌劇《イル・トロヴァトーレ》より「見よ恐ろしい炎を」、クルティス：帰れソレントへ、カルディッロ：カタリ・カタリ、カプア：オー・ソレ・ミオ、プッチーニ：歌劇《トゥーランドット》より「誰も寝てはならぬ」、ラヴェル：ボレロ

▲2026年3月7日第80回杉並定期演奏会／杉並公会堂大ホール

●2026年3月8日第261回芸劇シリーズ／東京芸術劇場コンサートホール

指揮：カーチュン・ウォン ホルン：信末碩才

芥川也寸志：交響管弦楽のための音楽、R.シュトラウス：ホルン協奏曲第1番、ストラヴィンスキー：バレエ組曲《火の鳥》[1945年版]

●●2026年3月13,14日第778回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール

指揮：下野竜也 ピアノ：野田清隆

ムーサ：エリジウム、ナイマン：ピアノ協奏曲、シベリウス：交響曲第6番

●2026年3月20日コバケン・ワールド Vol.42／サントリーホール大ホール

●2026年3月21日第415回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール

指揮：小林研一郎 クラリネット：伊藤寛隆

モーツァルト：クラリネット協奏曲、ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》

▲2026年3月22日武蔵野合唱団第56回定期演奏会／東京芸術劇場コンサートホール

指揮：下野竜也 合唱：武蔵野合唱団 チェンバロ：高橋美佐 ソプラノ：澤江衣里 テノール：櫻田亮 バリトン：原田圭

★2026年3月28日第154回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール

指揮：尾高忠明 ピアノ：牛田智大

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》、ベートーヴェン：交響曲第5番

●2026年3月29日エデュケーション・フェスティバル／杉並公会堂大ホール

指揮：和田一樹 歌とおはなし：石井あみ

チャイコフスキー：バレエ組曲《くるみ割り人形》より「行進曲」、リムスキー＝コルサコフ：熊蜂の飛行、J.シュトラウスⅡ世：《クラップフェンの森で》、チャイコフスキー：バレエ音楽《眠れる森の美女》よりワルツ、ロジャース（赤堀文雄編）：『サウンド・ミュージック』より「ドレミの歌」、シベリウス：交響詩《フィンランディア》、中川ひろたか：にじ